



## ▼ 初レースの悪夢

平成24年6月10日今年最初のレース、オープニングレガッタが開催されました。

小雨の降る中、チャンピオン・D-bros・NYX・マイウェイ・マリンピア・ココリスの常連組に加え旭光・カナイ・コンコルディアの9艇の参加で2レースが行われたがコミューティのトラブルにより第1レースはNORACEとなり、第2レースも途中より風が弱まりフィニッシュしたのは3艇にとどまった。

その後のパーティの最中も第1レースをぶっちぎりで駆け抜けたD-brosの怒りは治まらない。

場所をクラブハウスに移して第2ラウンドのゴングが鳴らされた、その先はどうなったかは？筆者の知るところがない。

## ▼ 行事予定

青函カップヨットレース

7月14日(金) 選手会(函館)

7月15~16日(土・日) 函館st 青森fin

マリナーニング

7月28~29日(土・日)

A級ディングマッチレース

7月29日(日) 12時より

花火大会観覧

8月1日(水) 新島裏碑前

ポンツーンまつり

8月4日(土) 16時より

市民一般試乗会

8月5日(日) 9時より

奥尻クルージング

8月8~16日

U-30ftチャレンジヨットレース

9月2日(日)

## ▼ 海の日のご記念「UW」旗の掲揚のお願い

7月16日は「海の日」です。周囲を海に囲まれた函館市では「海洋観光都市」宣言をしております。「箱館丸を守る会」では「海の日」にちなんで各海洋関係施設において国際信号旗「UW」旗を掲揚し広く一般市民の皆様に関心をもってください活動しております。国際信号旗「UW」は「ご安航を祈る」「ボンボヤージ」という意味で我々ヨットマンにとっても大きな意味のあるうれしい信号旗ですので当協会としても協力をしたく、賛同されるヨット各艇にご協力をお願いします。

青函レース後函館港へ帰港された16日に各艇に掲揚していただけますようご協力をお願いいたします。

(現在では UW1~3 と数字旗を付加して掲げているようですがここでは UW のみを掲揚します)



by 熊谷海事普及委員長

## ▼ 第1回トヨペットカップ

函館トヨペット株式会社(代表取締役社長河村隆平氏)当協会会長の協賛で記念すべき第1回のレースが7月1日(日)函館漁港と住吉漁港の往復で行われた。

やはり冠がつくと参加艇も日ごろのレースより多目の14艇が結集し、強風の中9時のスタートと同時に上マークをめざした。本部船もスタートライン撤収と同時に上マーク設置の為住吉漁港沖に向かう。

大鼻をかわしたと同時に波も高くなり後から話しを聞くとマークを打つ時には転覆の恐れもあったとか! ?何とかマークを打ち住吉漁港に避難入港。

間もなく1時間もしない内に各艇は上マークを次から次と回航しフィニッシュをめざす。トップにクロコ、続いて侍VII、そしてチャンピオンとうねりの中激走する。

ファーストホームは1時間24分10秒と歴史に残るかどろかは来年以降のお楽しみ。

表彰式兼レセプションには河村隆平会長と野田慶蔵副会長も出席し盛りあがった。

料理も久々に大ヒット、多くの仲間にサポートいただきこの紙面をお借りし感謝したいと思ひました、反省点も今後のレース運営に生かしたいと思ひます。

by 石川理事長

日曜朝7時、平日であれば勤務先へ向かってマイカーを運転している最中である。

クラブハウスにおいて本日の第1回トヨペットカップヨットレースの艇長会議が厳かに開かれようとしている、子供の時の運動会の様に朝早くから目が覚めみんなウキウキとした輝いた瞳で参加していた。

ポンツーンにいたときから風が強くなり夏のレースらしからぬジャンパーを着込み、オーバーパンツをはきカッパを身につける者も、案の定、潮切りを越えてスタートライン付近へ向かうとウサギがピョンピョン跳ねている。

レース中においても終始20~30ノットの風が吹きまだ身体が慣れていないこの時期にはキツイレース運びとなった。我が艇もスタートからワンポンで帆走していたが、中にはメイン無しで走っている艇も...

後で聞いたがメインセールを裂いてしまったとか、ほかにも各艇いろいろトラブルがあったようだが、1時間50分ほどで全艇フィニッシュ、大変満足の良いレースとなりました。

レース後のパーティーにおいてもいつものメニューと違い、あのままホテルに出しても十分満足するものでした。スタッフの皆さんありがとうございました、そしてお疲れ様でした。

カナイ・勸進丸の入賞に会場も大変盛り上がり、来年の第2回の副賞へ大きな期待をふくらませている外帆会員でした。

最後に河村会長、野田副会長日曜日にかかわらず表彰式へのご出席ありがとうございました。